



家庭教育 なう no.4

2023年6月発行
 恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
 〒509-7203 恵那市長島町正家後田1067-71

TEL 0573-26-1111 〈内線209〉
 FAX 0573-25-7129
 Mail oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

家庭教育学級リーダー研修会への参加 ありがとうございました 2

会場では、研修終了後、アンケートにご協力いただきありがとうございました。すべてのご感想、ご意見に目を通させていただきました。普段から、家庭教育の推進に親身になって取り組んでいるからこそその悩みなどもうかがうことができました。集計結果を次号で紹介させていただきます。

「親が子育てについて学ぶ」これが、家庭教育です。学ぶことで、親になっていくという言い方もできます。恵那市会場、中津川市会場では、幼保の部において、青少年育成専門職にも情報提供をいただきました。現在、「8050引きこもり問題」「少子高齢化」「不登校児童生徒高止まり」等、課題となっていることなど紹介していただきました。こうした青少年の課題を解決するためにも家庭教育が大切になってきます。

5月18日(木) 恵那市会場 (共同福祉会館)

気温も上昇し、汗ばむ一日となりました。心なしか会場における交流会の熱量も上昇していきました。地区ごとの交流が一層進みました。



恵那市会場 幼保の部 交流会
 アイスブレイクの様子



(参加者の声)

- ・来年も保育士さんと交流があると、嬉しいです。地域ごとのグループがありがたいです。
- ・みなさんの意見が聞けたので、よかったです。こう経験するとやはり、乳幼児学級もサロン型の内容も大切だと改めて感じました。

(恵那市 公民館主事)

恵那市会場 小中の部 交流会
 サロン型懇談会の様子



(参加者の声)

- ・家庭教育学級の様々なタイプの実践をうかがうことができ、自校の活動の幅を広げるアイデアになりました。
- ・サロン型でお互いの考えを交流することは、それぞれの子どもを見るまなざしの共通点を探るような感じで温かい雰囲気につながっていると思います。

(恵那市 中学校の先生)

お知らせ 長期休業日を利用し「話そう!語ろう!わが家の約束」運動に取り組む園・学校の皆さん、お手元にパンフレットは届きましたか?ぜひ、ご活用ください!



5月24日(水) 中津川市会場 (苗木交流センター)

中津川会場でも、さわやかな五月晴れの中、参加者の積極的な交流活動が行われました。終了後、会場の外でも交流が続いていました。

中津川市会場 幼保の部 県の説明 青少年育成専門職の話



(参加者の声)

- ・とても和やかにグループ交流ができ、参考にしたいと思うことが数多くありました。とても有意義でしたので、もう少し時間が長いと嬉しかったです。
 - ・家庭教育学級の意義を改めて確認できて、良かったです。
- (中津川市こども園の保護者)

中津川市会場 小中の部 交流会 サロン型懇談会の様子



(参加者の声)

- ・「家庭教育なう」が定期的に、内容も充実して発行されていることが、意義があると活動のヒント(助け)となっています。課題としては、これをいかに会員(保護者)広めていくか、ここを改善していきます。
- (中津川市中学校の先生)

5月30日(火)、6月6日(火) 瑞浪市会場 (総合文化センター)

瑞浪会場でも、朗らかな雰囲気、活発な実践交流が行われました。今年度は、幼保の部の参加者が昨年度と比べて激増しました。

瑞浪市会場 幼保の部 交流会 サロン型懇談会の様子



(参加者の声)

- ・家庭と園とで連携をとっていくことで、子ども達にとってより良い教育になっていくと感じました。ちょっとでも、できることからやってみようと思います。
- (瑞浪市こども園の先生)

瑞浪市会場 小中の部 交流会 サロン型懇談会の様子



(参加者の声)

- ・家庭教育学級は、子育てのことについて学ぶことに加え、学びを通して親同士がつながり合うことが目的の一つにあると教えていただき、そんな活動になるようにしていきたいと思いました。
- (瑞浪市小学校の先生)